



探訪 長門のいしおみ ⑧

# 横山白虹句碑

鳥瞰路  
(ちようかんろ)

黒潮へ

没る日の上を

鶺鴒が翔くる

白虹



青海島・船越、自然研究路(鳥瞰路)の西の入口にこの句碑がある。昭和38年(1963)の建立。すばらしい景観を一望できる鳥瞰路は、昭和初年、仙崎青年団の勤

勞奉仕により開通したといわれる。

横山白虹(本名・建夫)は、長門市ゆかりの俳人である。白虹の祖父横山幾太は、松下村塾の出身。旧大津郡長や深川村長を務め、深川湯本河原に住んでいた。墓も大寧寺にある。父の健堂(本名・達三)は、著名な評論家で著書も多い。青海島を「海上アルプス」と名付けたことでも知られる。

白虹は健堂の長男。明治32年(1899)東京で生まれた(本籍は深川湯本)。幼いころ河原に住んでいたこともあるが、父健堂につれられて転居を重ねた。一高を経て九州大学医学部を卒業。大学時代、それまで手がけていた現代詩をやめ俳句に転じた。昭和48年(1973)、現代俳句協会会長となり、没年まで現代俳句の振興に努めた。俳句結社『自鳴鐘』は、現在、房子夫人に引き継がれている。

また白虹は、小倉市議会議長を務めるなど、行政面でも功績があった。昭和58年(1983)北九州市で没。84歳。墓は、山口市善生寺にある。

(正)



(寄稿・長門市郷土文化研究会)



火災時の問い合わせは

☎22-1414

長門地区消防本部・中央消防署

☎22-3111

## 防火の習慣を身につけよう

食事の準備をする時間帯に火災が多く発生しています。台所のガスコンロ使用による火災を防ぐため、次のことに注意しましょう。

- ・加熱防止装置付等のガスコンロを使用する。
- ・古くなったガスホースは、使用しない。
- ・ガスコンロのまわりは、常に整理整頓する。
- ・天ぷら油の過熱に注意する。
- ・ガスコンロのそばを離れるときは、必ず火を消す。